



社団法人 日本建設機械化協会

## 第 61 回通常総会開催（その 1）



本協会の第 61 回通常総会は、平成 22 年 5 月 26 日（水）10 時 30 分から東京都港区海岸 1 丁目 11 番 2 号のアジュール竹芝において関係者約 200 名のもとに開催された。

開会宣言に始まり、辻会長の挨拶があり、定款の定めにより会長が議長となり、書記の任命、総会の成立宣言、議事録署名人の選任を行って議事に入った。

最初に第 1 号議案 平成 21 年度事業報告承認の件、第 2 号議案 平成 21 年度決算報告承認の件が上程され、満場一致でこれを承認し、ついで第 3 号議案 (1) 任期満了に伴う役員改選に関する件に移り、理事 45 名、監事 3 名の選任を行って総会は小憩に入った。

この間、別室において理事会が開催され、再開後の総会において、会長 1 名、副会長 3 名、専務理事 1 名、常務理事 26 名が互選された旨並びに会長に事故あるとき又は会長が欠けたときの副会長の職務代行順序についての理事会決定事項が理事会議長から報告された。

続いて、第 4 号議案 平成 22 年度事業計画に関する件、第 5 号議案 平成 22 年度収支予算に関する件が上程され、満場一致でこれを承認し、12 時 7 分盛會裡に終了した。

### 平成 21 年度 事業報告書

平成 21 年度事業計画においては、公益法人改革を踏ま

えつつ、以下の図に示すとおり、最近の社会的な背景を踏まえた 4 つの重点項目を柱に、個別の業務を推進した。



## 総会，役員会，運営幹事会

### 1. 第60回通常総会

平成21年5月27日（水）に、虎ノ門パストラルにおいて開催し、①平成20年度事業報告及び決算報告、②平成21年度事業及び収支予算を承認可決するとともに、補欠役員として理事12名を承認した。

### 2. 創立60周年記念行事

第60回通常総会終了後、200名余の列席者のもと、記念式典、記念講演会（「土木技術継承の課題」、政策研究大学院大学森地茂特別教授）及び祝賀会が開催された。

### 3. 理事会

- 1) 平成21年5月15日（金）に通常総会に提出する議案を審議、決定した。また、「監査規程について」他3規程等を審議し、承認した。
- 2) 通常総会本会議の間に開催し、副会長1名、常務理事8名を選任した。
- 3) 平成21年10月29日（木）に開催し、平成21年度上半期事業報告及び経理概況報告の審議のほか、「平成21年度における特定資産組替」他6議案について審議し、承認した。
- 4) 平成22年3月23日（火）に開催し、平成22年度事業計画及び収支予算について審議し、承認した。

### 4. 運営幹事会

- 1) 平成21年4月24日（金）に開催し、理事会に提出する議案を審議、決定した。
- 2) 平成21年10月22日（木）に開催し、理事会に提出する議案を審議、決定した。

### 5. 会計監査

監事により、平成21年5月12日（火）に、平成20年度決算書類について会計監査が行われた。

平成21年7月15日（火）及び平成22年2月2日（火）に開催し、支部の収入・支出の分析、会員増を図るための活動・会員サービス、中期事業計画策定、新公益法人制度への対応等について討議を行った。

### 6. 関係機関への協力

「水の週間」、「国土交通行政推進事業」ほか、関係機関の各種事業に協賛した。

### 7. その他

平成22年1月7日（木）16時より機械振興会館において、新年賀詞交歓会を開催した。（参加者約300名）

### 平成21年度の主な事業（各種委員会等）

#### 1. 新規事業の実施及び既存事業の拡充

##### 1) 情報化施工の研究・技術開発・普及促進

国土交通省が平成20年7月に定めた「情報化施工推進戦略」の人材育成目標を具体化するため、205名の研修員を対象に情報化施工研修会を11回開催した。

また、人材育成に資するため、情報化施工の入門書として「情報化施工ガイドブック2009」を出版するとともに、協会のホームページに新たに「情報化施工技术」等を紹介するページを設置した。

協会の団体会員のうち建設業を営む会員を対象に「情報化施工に関するアンケート」を実施し、その概要を協会ホームページに掲載した。

国土交通省の平成20年度技術開発助成制度を活用して開発した「ICT設計データ変換ソフト」を協会ホームページ上で一般公開した。

国土交通省より、情報化施工に関する調査研究業務を受託し、情報化施工推進の支援を行った。

##### 2) 建設機械施工に携わる技術者・技能者の継続教育

建設機械施工技士をはじめとした建設機械施工に携わる技術者・技能者の技術力向上を図るため、建設工事の安全性向上、新技術の活用等の分野を対象とした講習会の受講等による継続教育制度に関する検討を行った。

##### 3) 建設機械関係事業に係る発注者支援業務の推進

機械設備の総合評価方式入札契約等における発注者支援を行うため、「土木機械設備技術支援エキスパート」の認定を実施し1名を認定した。

##### 4) 災害応急対策業務の強化

災害時の建設機械の活用に関する業務の受託を通じて、災害時の被害軽減施策等について検討した。また、災害ボランティアの支援については、枠組み、手法等について検討した。

##### 5) 研究助成制度の推進

研究開発助成について、平成21年12月16日（水）に審査会を開催し、8件の応募の中から1件を選定した。

##### 6) 公益性の高い事業・活動の推進のための基金等の活用

情報化施工推進のための特定資産について、情報化施工研修に必要な機器整備などに伴う経費相当額を取崩した。

## 7) 公益法人改革への取り組み

10月29日の理事会において「社団法人日本建設機械化協会における新公益法人制度への対応方針について」を決議するとともに、プロジェクトチームを設置し、一般社団法人への移行申請に向けた検討を実施した。

## 2. 会長賞（会長賞選考委員会）

平成21年度(社)日本建設機械化協会会長賞として、応募14件の中から会長賞「横引き式遮水シートによる地下遮水壁構築工法（ラテナビウォール工法）の開発」（清水建設㈱）のほか、貢献賞1件、奨励賞2件、選考委員会賞1件を決定し表彰した。

## 3. 建設機械施工技術検定試験（国土交通大臣指定試験機関）（総括試験委員会）

1) 平成21年度1級・2級建設機械施工技術検定学科試験を6月21日に全国10会場で実施した。

[1級] 受験者数2,492名, 合格者数 540名, 合格率 21.7%

[2級] 受験者数5,115名, 合格者数3,028名, 合格率 59.2%

※2級は1種から6種までの合計

2) 学科試験合格者, 学科試験免除該当者に対し, 技術検定実地試験を全国13会場で平成21年8月下旬から9月中旬にかけて実施した。

[1級] 受験者数 625名, 合格者数 551名, 合格率 88.2%  
当初受験者 (2,492名) に対する最終合格率 21.4%

[2級] 受験者数 3,215名, 合格者数 2,818名, 合格率 87.7%  
当初受験者 (5,115名) に対する最終合格率 55.1%

※2級は1種から6種までの合計。また, 当初受験者に対する最終合格率には技術研修修了者を除く。

3) 総括試験委員会を3回開催し, 平成21年度試験結果及び平成22年度試験の実施計画等について審議するとともに, 平成22年度試験問題及び採点基準を決定した。

4) 試験委員会を開催し, 平成21年度学科試験の採点及び実地試験の採点並びに平成22年度学科試験問題の原案作成, 検討及び監修を行った。

## 4. 機関誌の発行（機関誌編集委員会）・図書出版

1) 機関誌「建設の施工企画」誌を編集委員会で企画・編集し, 平成21年4月号～平成22年3月号を発行した。

2) 「情報化施工ガイドブック2009」, 「日本建設機械要覧2010」等を出版した。

## 5. 除雪機械展示・実演会の開催

平成22年2月18日(木)～19日(金)に青森県青森市(合浦公園)で「ゆきみらい2010 in 青森」の一環として除雪機械展示・実演会を開催した。出展団体9団体, 来場者数約1,400名であった。

## 6. 国際協力

外国人の「建設機械施工」分野での研修成果を評価するための試験を77回, 196名を対象に実施した。

## 7. 海外建設機械化視察団

平成22年4月19日(月)～25日(日)にドイツ・ミュンヘンで開催される「国際建設機械・建設資材製造機械・建設車両等専門見本市“BAUM2010”」に視察団を派遣するための準備作業を行った。

また, 欧州情報化施工推進状況調査(平成21年9月13日～21日)を実施した。

## 8. その他

1) 平成22年度税制改正要望に関して, 関係機関と調整を行った。

(以下, 次号へ続く)